

校長室だより **春日** (しゅんじつ) 校長 清武 直人

### 校長先生大変です！

「校長先生大変です！」  
「すぐに体育館に来てください！」

いつも冷静な桑野先生が血相を変えて校長室に飛び込んできました。教頭先生と山下先生と、来年度に向けての打合せをしてるところでしたが、

「子どもに何かあったに違いない！」

と、席を立てて一目散に体育館に走りました。体育館についてドアを開けると、そこにはなんと (\*° 旦°)



子どもたちが全員集合して私を見ているのです。そして、花のアーチ。代表の子どもにエスコートされ、花のアーチをくぐりながらステージへ。

なんと、私の退職を祝う“サプライズ集会”が企画されていたのです。(\*^o^\*)

くす玉が割られ、巨大な私の似顔絵が広げられ、全員の子どもたちから温かいメッセージをいただきました。そして、私のために、全員で校歌を歌ってくれました。いつもと違った校歌に聞こえました。

あっ、いけない！  
心が震えている。  
涙がにじんできた。  
あっ、涙がこぼれた (ToT)

なんと幸せな私でしょう。  
この喜び、この感動。  
一生忘れることはありません。  
ありがとう！  
子どもたち、先生たち  
ありがとう！



家に帰って、子どもたちのメッセージを一つ一つ読んでいきました。丁寧に心を込めて書いてくれたとことが伝わります。そして、その一言一言が私の心に深くしみりました。  
本当に、ありがとう！



### 旅立ちの日に

小島 登 作詞

懐かしい友の声 ふとよみがえる  
意味もないいさかいに 泣いたあの時  
心通った嬉しさに 抱き合った日よ  
みな過ぎたけれど 思い出強く抱いて  
勇気を翼に込めて 希望の風に乗  
この広い大空に 夢を託して



6年生の卒業式の日が近づいてきました。大切な儀式が滞りなく進行するように、卒業生も在校生も心をつなげて、卒業式の準備を進めています。“旅立ちの日に”は、6年生が式の第2部で歌う曲の一つです。練習とはいえ、6年生の美しい歌声に心が揺さぶられます。



今別れるとき  
飛び立とう未来信じて  
弾む若い力信じて  
この広い この広い 大空に



6年生の歌声を聞きながら、遠い昔の自分の卒業式のことを思い出されます。楽しかったことも、辛かったことも、全てを懐かしむ心に置き換えてくれた。そして、これから歩む中学校生活のことを思うと、胸が高鳴った。

過ぎ去った時間はよき思い出として  
これから迎える世界は希望として  
今までとこれからの狭間が  
旅立ちの日

